



平成 24 年 3 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 23 年 8 月 4 日

上場会社名 川崎化成工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4117 URL <http://www.kk-chem.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山部 俊一
 問合せ先責任者 (役職名) 総務人事部長 (氏名) 大坪 孝幸 (TEL) 044 (246) 7100
 四半期報告書提出予定日 平成 23 年 8 月 4 日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有・☐無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有・☐無

(百万円未満切捨て)

1. 平成 24 年 3 月期第 1 四半期の連結業績 (平成 23 年 4 月 1 日～平成 23 年 6 月 30 日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24 年 3 月期第 1 四半期	5,150	36.3	△12	—	5	△94.4	4	—
23 年 3 月期第 1 四半期	3,777	15.7	48	—	98	—	△38	—

(注) 包括利益 24 年 3 月期第 1 四半期 18 百万円 (—%) 23 年 3 月期第 1 四半期 △71 百万円 (—%)

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24 年 3 月期第 1 四半期	0.11	—
23 年 3 月期第 1 四半期	△0.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24 年 3 月期第 1 四半期	20,075	12,522	62.4
23 年 3 月期	19,933	12,619	63.3

(参考) 自己資本 24 年 3 月期第 1 四半期 12,522 百万円 23 年 3 月期 12,619 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23 年 3 月期	—	0.00	—	3.00	3.00
24 年 3 月期	—				
24 年 3 月期(予想)		0.00	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有・☐無

3. 平成 24 年 3 月期の連結業績予想 (平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

(%表示は、通期は対前期、第 2 四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第 2 四半期(累計)	10,050	29.9	70	△60.0	100	△60.1	100	△11.8	2.58
通 期	18,800	19.9	280	14.2	330	△13.1	330	24.1	8.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有・☐無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有・☐無
新規 社 (社名) 、除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有・☐無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有・☐無
② ①以外の会計方針の変更 : 有・☐無
③ 会計上の見積りの変更 : 有・☐無
④ 修正再表示 : 有・☐無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	41,207,730株	23年3月期	41,207,730株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	2,479,600株	23年3月期	2,477,792株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	38,729,409株	23年3月期1Q	38,740,414株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる可能性があります。
上記予想の関連事項については、添付書類3ページをご参照下さい。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・・	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報・・・・・・・・・・	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報・・・・・・・・・・	P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報・・・・・・・・・・	P. 3
2. サマリー情報（その他）に関する事項・・・・・・・・・・	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動・・	P. 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用・・	P. 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示・・	P. 4
3. 四半期連結財務諸表・・・・・・・・・・・・・・・・	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表・・・・・・・・・・	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書・・	P. 7
四半期連結損益計算書・・・・・・・・・・	P. 7
四半期連結包括利益計算書・・・・・・・・・・	P. 8
(3) 追加情報・・・・・・・・・・	P. 9
(4) 継続企業の前提に関する注記・・・・・・・・・・	P. 9
(5) セグメント情報・・・・・・・・・・	P. 9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記・・	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、東日本大震災の影響による個人消費、設備投資の低迷に加え、資源価格の高騰、欧米の財政不安による円高の進行等により景気は総じて厳しい状況となりました。

化学工業界におきましては、生産は震災によるサプライチェーンの寸断等の影響からは回復しつつあるものの、国内需要は復興の遅れ等により停滞しており、加えて原料価格が高騰する厳しい事業環境となりました。

このような状況下、当社グループはお客様への安定供給、既存製品及び新規製品の拡販、原料価格の高騰に対処した適正な価格水準の確保に取り組んでまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における経営成績は、売上高は震災関連需要による有機酸系誘導品の販売数量の増加並びに原料価格の高騰に伴う製品価格の上昇により5,150百万円（前年同期比1,372百万円増収・36.3%増）と大幅な増収となりました。

一方、損益面では主にキノン系の一部製品における原料価格の高騰の影響並びに震災等の影響による販売数量の減少により営業利益段階では12百万円の損失（前年同期は48百万円の営業利益）となり、経常利益は5百万円（前年同期比92百万円の減益・94.4%減）といずれも減益となりました。

また、四半期純利益は4百万円（前年同期は「資産除去債務に関する会計基準」の適用に伴う特別損失の計上等により38百万円の四半期純損失）となりました。

これを事業別に見ますと次のとおりであります。

① 化学品事業

・ 有機酸製品

無水フタル酸は、輸出販売数量が減少しましたが、原料価格の高騰に対処した製品価格の是正により前年同期並の売上となりました。

その他の有機酸につきましては、コハク酸は生分解性樹脂向けの販売が増加し増収となりました。フマル酸は販売数量が増加し増収となりました。

・ 有機酸系誘導品

可塑剤は、販売数量の増加並びに原料アルコール価格の上昇により大幅な増収となりました。

マキシモール®は、仮設住宅向けの販売数量が増加し大幅な増収となりました。

・ キノン系製品

パルプ蒸解助剤SAQ®は、震災の影響により販売数量が減少し減収となりました。アントラキノンは販売数量が増加し増収となりました。ナフトキノンは輸出販売数量の減少により大幅な減収となりました。脱硫触媒NQS®は販売数量が増加し増収となりました。

以上の結果、化学品事業全体としての売上高は 5,138 百万円（前年同期比 1,394 百万円増収・37.3%増）、営業損失は 15 百万円（前年同期は 44 百万円の営業利益）となりました。

② その他の事業

その他の事業につきましては、業務受託量が減少したため売上高は 11 百万円（前年同期比 21 百万円減収・64.8%減）、営業利益は 0 百万円（前年同期比 0 百万円減益・57.8%減）となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は 20,075 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 142 百万円増加いたしました。

流動資産は、主に売掛金及び製品の増加により、前連結会計年度末に比べ 245 百万円増加し、9,742 百万円となりました。

固定資産は、主に有形固定資産の減価償却見合いの減少により、前連結会計年度末に比べ 103 百万円減少し、10,332 百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は 7,553 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 239 百万円増加いたしました。

流動負債は、主に買掛金の増加により、前連結会計年度末に比べ 200 百万円増加し、4,010 百万円となりました。

固定負債は、主に退職給付引当金の増加により、前連結会計年度末に比べ 39 百万円増加し、3,543 百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は 12,522 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 97 百万円減少いたしました。

株主資本は、主に四半期純利益 4 百万円の計上はありましたものの、配当金の支払いにより、前連結会計年度末に比べ 112 百万円減少し、9,554 百万円となりました。

その他の包括利益累計額は、主に、保有株式の時価評価の増加に伴うその他有価証券評価差額金の増加により、前連結会計年度末に比べ 14 百万円増加し、2,968 百万円となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

本年 5 月 18 日に発表いたしました連結業績予想に修正はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	292	178
受取手形及び売掛金	4,651	5,154
商品及び製品	886	1,380
仕掛品	444	334
原材料及び貯蔵品	509	485
短期貸付金	2,503	2,017
その他	209	191
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	9,497	9,742
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,735	1,702
機械装置及び運搬具（純額）	1,935	1,792
土地	5,862	5,862
その他（純額）	91	150
有形固定資産合計	9,624	9,506
無形固定資産	224	215
投資その他の資産	586	610
固定資産合計	10,436	10,332
資産合計	19,933	20,075
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,351	2,550
短期借入金	100	100
未払法人税等	13	10
賞与引当金	174	73
修繕引当金	74	118
災害損失引当金	31	16
その他	1,063	1,140
流動負債合計	3,809	4,010
固定負債		
リース債務	176	167
再評価に係る繰延税金負債	1,955	1,955
繰延税金負債	130	140
退職給付引当金	979	1,012
役員退職慰労引当金	45	50
資産除去債務	216	217
固定負債合計	3,503	3,543
負債合計	7,313	7,553

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,282	6,282
資本剰余金	2,549	2,549
利益剰余金	1,233	1,121
自己株式	△399	△399
株主資本合計	9,666	9,554
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	122	136
土地再評価差額金	2,831	2,831
その他の包括利益累計額合計	2,953	2,968
純資産合計	12,619	12,522
負債純資産合計	19,933	20,075

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	3,777	5,150
売上原価	3,196	4,635
売上総利益	581	515
販売費及び一般管理費	533	528
営業利益又は営業損失(△)	48	△12
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	13	6
固定資産賃貸料	11	9
その他	25	2
営業外収益合計	52	20
営業外費用		
支払利息	0	0
固定資産処分損	0	1
その他	0	0
営業外費用合計	1	2
経常利益	98	5
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	82	—
特別損失合計	82	—
税金等調整前四半期純利益	16	5
法人税、住民税及び事業税	1	0
法人税等調整額	52	0
法人税等合計	54	1
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△38	4
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△38	4

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△38	4
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△33	14
その他の包括利益合計	△33	14
四半期包括利益	△71	18
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△71	18
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 追加情報

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表計上額 (注) 2
	化学品事業	その他の事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,744	33	3,777	—	3,777
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	23	23	△23	—
計	3,744	56	3,801	△23	3,777
セグメント利益	44	1	45	2	48

(注) 1. セグメント利益の調整額2百万円は、グループ内設備取引に係る未実現利益実現等によるものであります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表計上額 (注) 2
	化学品事業	その他の事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,138	11	5,150	—	5,150
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	28	28	△28	—
計	5,138	40	5,178	△28	5,150
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	△15	0	△14	2	△12

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額2百万円は、グループ内設備取引に係る未実現利益実現等によるものであります。
2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。